

# SYNOPSIS上のファイルを削除できない場合の対処方法

検証済バージョン：4.5~6.0

# 1. 保存したトレースファイルをCLIから削除する方法

➤ トレースファイルを削除するためには、管理者権限でコマンドを実行します。

## ➤ コマンド例

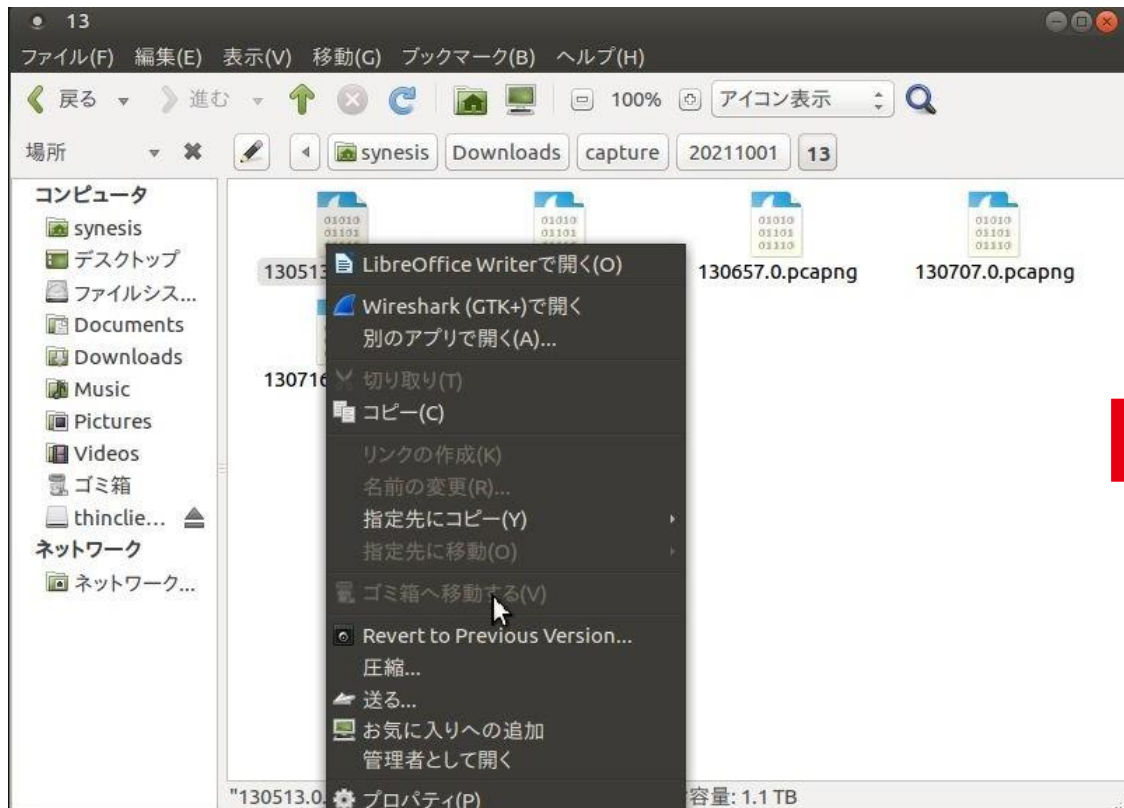
➤ `$sudo rm <file name>`

➤ 実行後はパスワードが求められますので、OSのログインパスワードを入力してください

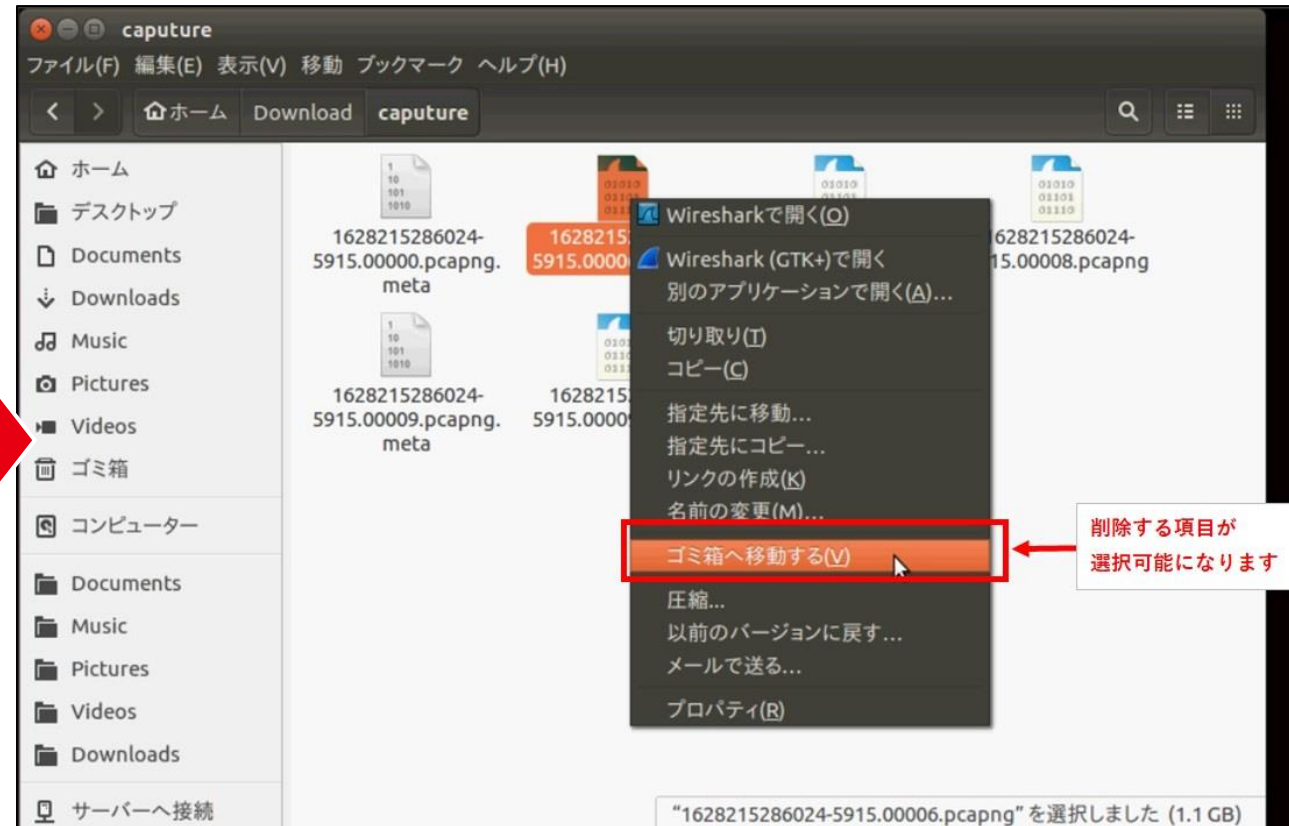
```
172.22.127.24 - synesis@SYNESIS: ~/Download/capture VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
synesis@SYNESIS:~/Download/capture$ ls -al
合計 2119284
drwxr-xr-x 2 root root    4096  8月 10 13:57 .
drwxr-xr-x 3 root root    4096  8月  6 10:22 ..
-rw-r--r-- 1 root root 14481488  8月  6 11:01 1628215286024-5915.00000.pcapng.meta
-rw-r--r-- 1 root root 1073741472  8月  6 11:01 1628215286024-5915.00008.pcapng
-rw-r--r-- 1 root root 1073741000  8月  6 11:01 1628215286024-5915.00009.pcapng
-rw-r--r-- 1 root root  8163056  8月  6 11:01 1628215286024-5915.00009.pcapng.meta
synesis@SYNESIS:~/Download/capture$ sudo rm 1628215286024-5915.00008.pcapng
[sudo] synesis のパスワード:
synesis@SYNESIS:~/Download/capture$ ls -al
合計 1070704
drwxr-xr-x 2 root root    4096  8月 10 14:06 .
drwxr-xr-x 3 root root    4096  8月  6 10:22 ..
-rw-r--r-- 1 root root 14481488  8月  6 11:01 1628215286024-5915.00000.pcapng.meta
-rw-r--r-- 1 root root 1073741000  8月  6 11:01 1628215286024-5915.00009.pcapng
-rw-r--r-- 1 root root  8163056  8月  6 11:01 1628215286024-5915.00009.pcapng.meta
synesis@SYNESIS:~/Download/capture$
```

## 2. OSのファイルマネージャからトレースファイルを削除する方法

ファイルマネージャの起動をユーザ権限から管理者権限に切り替えます



ユーザ権限



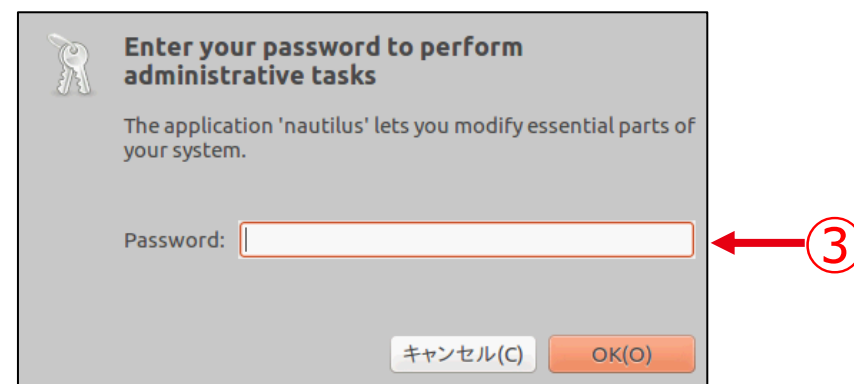
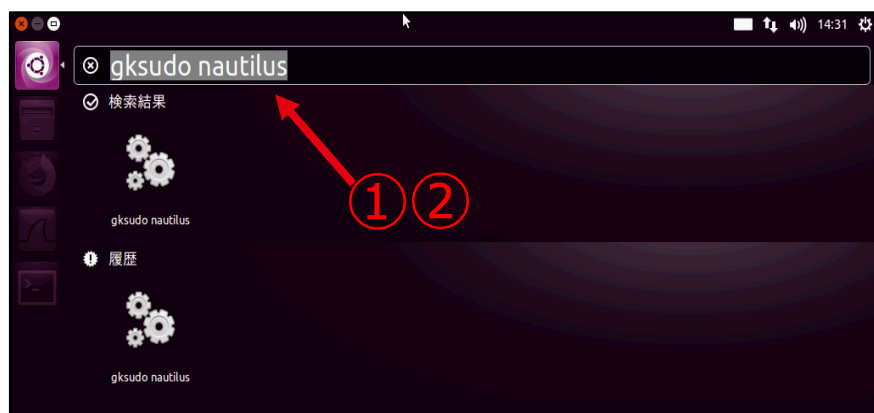
削除する項目が  
選択可能になります

管理者権限

## 2. OSのファイルマネージャからトレースファイルを削除する方法

### 管理者権限への移行手順

- ① デスクトップ画面で"Altキー+F2キー"を押してコマンド実行のGUIを表示します。
- ② テキストボックスに下記コマンドを入力してEnterを押します。  
》 gksudo nautilus
- ③ ダイアログでパスワード入力を求められるので、OSのログイン時に使用したパスワードを入力してダイアログ右下のOKボタンをクリックします。
- ④ 管理者権限のファイルマネージャが起動します。



# 3. 任意のフォルダにあるファイルをファイルマネージャから削除する方法

## フォルダのアクセス権限を変更します

- ① SSHでログイン
- ② 以下のコマンドによりアクセス権限を変更する（ファイルパスは例です）
  - `$sudo chmod 777 /home/synesis/Sample/tracefile/`
- ③ フォルダ自体の権限を変更することで、その配下にあるすべてのファイルを削除できるようになります

## 4.フォルダによる削除方法の判別

### フォルダの作成方法によりファイルの削除方法が変わります

- 》 ファイルマネージャ等から手動で作成
  - 》 User権限で作成されるため、通常操作で削除可能

### 》 SYNESISによる自動生成

- 》 カスタムフォルダに指定された新規のフォルダ
- 》 自動保存機能により自動生成されたフォルダ

これらのフォルダは管理者権限で作成されるため、P.2-5の方法で削除する必要があります

#### 【自動保存機能フォルダ構成】

##### [指定フォルダ]

```
├[yyyymmdd]
|   └[HH]
|       └[HHMMSS.id.pcap]
|       └[HHMMSS.id.pcap]
:       :
```

# 5. アクセス権限別の削除方法一覧

トレースファイル保存先によりフォルダアクセス権限が変わります。  
アクセス権限別のトレースファイル削除方法は以下の通りです。

トレースファイル保存先 (保存先パス)	ファイル保存方法別の フォルダアクセス権限	削除するファイルへの アクセス手法	トレースファイルの削除方法
ビルトインフォルダに保存 (/pvc/data/databank /webcache/tracefile/ admin)	既存フォルダに保存されるため、 保存先フォルダはUser権限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラウザ</li> <li>・SSH</li> <li>・RDP</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブラウザから削除</li> <li>2. SSHでrmコマンドにより削除</li> <li>3. RDPでファイルマネージャから削除</li> </ol>
カスタムフォルダに保存 (任意のパスを指定)	指定パスのフォルダを手動で 作成した場合はUser権限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSH</li> <li>・RDP</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. SSHでrmコマンドにより削除</li> <li>2. RDPでファイルマネージャから削除</li> </ol>
	指定パスにフォルダがなく、 自動生成された場合はroot権限		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. SSHでコマンド実行(P.2)</li> <li>2. RDPでファイルマネージャ操作(P.3)</li> <li>3. RDPでフォルダ権限操作(P.5)</li> </ol>
自動保存機能で保存 (デフォルト： /pvc/data/databank/ autobackup)	パス配下に保存時間毎のフォルダ を自動生成するため、root権限		